

特別企画：九州・沖縄地区の外食産業売上高ランキング（2016年度）

上位 50 社の合計売上高、3.1%増で 2 年ぶりに増加 ～売上高伸び率は「アペックスコーポレーション」がトップ～

はじめに

一般社団法人日本フードサービス協会が 2017 年 7 月に発表した 2016 年（平成 28 年）の外食産業市場規模（料理品小売業を含む広義）は 32 兆 4214 億円と、前年に比べて 1.3%増加した。居酒屋などの料飲主体の業態はやや伸び悩んだものの、持ち帰り弁当店や総菜店などの「料理品小売業」（弁当給食を除く）の伸び率が 5.6%に達するなど、「飲食」に比べて「中食」分野の成長が際立っている。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS 2」（約 147 万社収録）から、九州・沖縄地区（以下、九州）に本社を置き、外食事業を主業とする企業を抽出。売上高上位 50 社の 2016 年度（2016 年 4 月期～2017 年 3 月期）の売上高や税引き後利益、その伸び率などをまとめた（売上高には一部推定を含む）。

なお、本調査でいう「外食」には、レストランなど飲食店における「飲食」事業をはじめ、持ち帰り弁当や宅配サービスなど料理品小売業に分類される「中食」事業、病院・学校などにおける「給食」事業も含めて集計した。

本調査は 2017 年 2 月（2015 年度調査）に続く 17 回目。

調査結果（要旨）

1. 2016 年度の売上高ランキングは**（株）プレナス（東証一部、福岡市）**が 14 年連続のトップ
2. 2016 年度の売上高伸び率ランキングは**（株）アペックスコーポレーション（福岡県久留米市）**がトップ。前年度トップの**（株）やまや食工房（福岡市）**が 2 位
3. 売上高上位 50 社の 2016 年度の合計売上高は 4834 億 7100 万円で、前回調査（2015 年度）に比べて 3.1%増加。増加は 2 年ぶりで過去最高を更新
4. 前年度売上高との比較が可能な 46 社中「増収」企業は 32 社（構成比 69.6%）となり、構成比は 2 年連続で増加。一方、税引き後利益が「赤字」となった企業が 8 社（構成比 17.4%）、「減益」企業も 14 社（同 30.4%）にのぼるなど損益が悪化した企業も増加
5. 2016 年度は 33 件の倒産が発生。2017 年度は 8 カ月間（4～11 月）の累計で 31 件に達しており、過去最多だった 2013 年度（54 件）に迫る可能性も

1. 売上高ランキング [50位までのランキング表は末尾掲載]

2016年度の売上高ランキングでトップになったのは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する**(株)プレナス**（東証一部、福岡市）。「やよい軒」事業では既存店売上高が前年度実績を上回ったのに対し、「ほっともっと」事業では単品総菜の販売や子ども向けキャンペーンの開催などでテコ入れを図ったものの、既存店売上高が前年度実績を下回った。また、直営店の加盟店への移管を進めたこともあり、売上高は前年度比3.6%減の1382億8200万円となったが、2003年度から14年連続で首位となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位10社（2016年度）

順位	前年度 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算 月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	1	(株)プレナス	福岡市	中食	持ち帰り弁当店「ほっともっと」、定食店「やよい軒」	2	138,282	▲3.6%
2	2	注1 ジョイフルグループ各社合計	大分市	飲食	ファミリーレストラン「Joyfull(ジョイフル)」	12	62,712	**
3	3	注2 (株)梅の花サービス西日本	福岡県久留米市	飲食	飲食店「湯葉と豆腐の店 梅の花」、「かに料理専門店 かにしげ」	9	16,969	▲3.5%
4	4	(株)ウエスト	福岡市	飲食	うどん・そば店、焼肉店「WEST(ウエスト)」	2	15,283	▲0.2%
5	6	(株)ヒライ	熊本市	中食	持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」、食堂「まんま・家」	5	15,189	9.7%
6	8	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	15,042	19.7%
7	5	東洋食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味処 花咲」「四季の創菜 旬」「花小町」「味花」	11	14,653	0.7%
8	-	(株)カの源カンパニー	福岡市	飲食	ラーメン店「博多一風堂」、居酒屋「行集談四朗商店」「五行」	3	14,008	▲0.03%
9	7	栄食メディックス(株)	福岡市	給食	施設内の飲食サービス業務の受託運営	9	14,000	3.7%
10	9	(株)古市庵	福岡県久留米市	中食	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」「おにぎり畑晴れ晴れ」「おむすび紀行」	9	8,975	1.2%

【売上高には推定値を含む】

注1 (株)ジョイフルは、2016年1月に直営店舗の事業部門を11の地域子会社に分割譲渡、持ち株会社へ移行した。2016年度の売上高は、(株)ジョイフルおよび各地域子会社の直営店販売実績合計(有価証券報告書記載)であり、前年度との比較ができない。

注2 (株)梅の花サービス西日本は、旧・(株)梅の花Service。2016年10月に東日本における店舗事業を(株)梅の花サービス東日本に分割譲渡し、現商号へ変更した。業績値は会社分割前の実績。

2位は、ファミリーレストラン「Joyfull」を展開する**(株)ジョイフル**（福証、大分市）グループ。2016年1月に、地域の実情に応じた戦略立案と意思決定の迅速化を図ることを目的として、全国11の地域子会社に対して店舗運営事業を譲渡し、かつての事業会社は持ち株会社に移行した。今回のランキングでは、(株)ジョイフルおよび11子会社が運営する直営店の売上高合計を“グループ売上高”としてランキングに計上した。近時は投資額を抑えた新型店舗の出店を加速するほか、新業態として取り組む和食カフェテリア「ごはん処・喜楽や」の出店を進め、売上高は計627億1200万円となった。なお、直営店売上高は前年度比2.9%増。

3位は、(株)梅の花（東証二部、福岡県久留米市）の連結子会社で、湯葉と豆腐の店「梅の花」を中心とした飲食店舗を展開する**(株)梅の花サービス西日本**（旧商号・**(株)梅の花Service**、同市）。「店内プラス一品販売」や持ち帰りコーナーの商品充実などで単価向上を図ったものの、熊本地震以降の消費停滞、天候不順の影響などもあって来店客数が減少、売上高は前年度比3.5%減の169億6900万円となった。なお、同社は2016年10月に東日本エリアの店舗運営事業を(株)梅の花サービス東日本（同市）に分割譲渡している。

このほか、ランキング上位では、持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」を展開する(株)ヒライ（熊本）がスーパーストアへのテナント出店などで売上高を伸ばし、5位に浮上。ラーメン店「一蘭」を展開する(株)一蘭（福岡市）も、東名阪への出店効果から2ケタの増収率をマークし、6位に順位を上げた。

2. 売上高伸び率ランキング

2016年度の売上高伸び率ランキングでトップになったのは、全体順位は50位ながら、前年度比72.9%増と大きな伸びを見せた(株)アベックスコーポレーション（福岡県久留米市）。前年度まではレンタルビデオ店の経営を主体としていたが、2015年11月に独立型店舗の「龍の家」やフードコート対応店舗の「らーめん息吹」の店名でラーメン店を展開していたグループ会社の(株)アベックスフーズ（同市）などを吸収合併。また、「コメダ珈琲店」のフランチャイズ4店舗の運営も手がけ、23億5200万円の売上高を計上した。

九州・沖縄地区 外食産業売上高伸び率ランキング上位10社（2016年度）

伸び率 順位	全体 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算 月	売上高 (単位:百万 円)	前年度比 売上高 伸び率
1	50	(株)アベックスコーポレーション	福岡県久留米市	飲食	ラーメン店「龍の家」、「ラーメン息吹」、コメダ珈琲店FC店	10	2,352	72.9%
2	27	(株)やまや食工房	福岡市	飲食	「博多もつ鍋 やまや」「博多めんたい やまや食堂」「博多Kitchen YAMAYA」	8	4,074	49.1%
3	6	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	15,042	19.7%
4	29	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクナル」FC	3	3,880	18.4%
5	11	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	8,399	17.6%
6	15	(株)むすんでひらいて	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	6,701	15.0%
7	32	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」、「サーティワンアイスクリーム」FC	6	3,500	12.9%
8	46	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	居酒屋「松介」「博多ほたる」、焼肉店「龍王館」、ラーメン店「中る」	9	2,560	12.4%
9	45	(株)イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「ポポラマーマ」「サーティワンアイスクリーム」各FC	2	2,616	12.0%
10	36	(株)梅の花plus	福岡県久留米市	中食	持ち帰り総菜・弁当店「梅の花」	9	3,274	11.3%

（売上高には推定値を含む）

2位には、前年度の売上高伸び率ランキングでトップだった(株)やまや食工房（福岡市）が入った。明太子メーカー(株)やまやコミュニケーションズ（同市）の100%出資子会社で、首都圏を中心とする全国主要都市において「博多もつ鍋 やまや」などを展開している。ランチタイムにおける“明太子食べ放題”が口コミで拡がるなどで好評を博し、新規出店効果もあって売上高は前年度比49.1%増の40億7400万円と、前年度伸び率（39.5%）を上回る伸び率を示した。

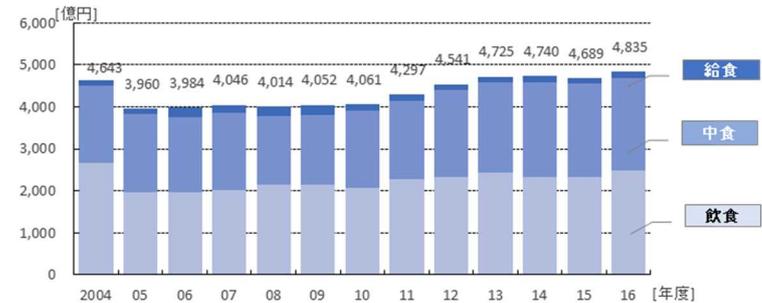
「中食」で伸び率が最も大きかったのが、伸び率ランキング5位（全体11位）の(株)イーティーズ（福岡県鞍手町）だ。ディスカウントチェーンやドラッグチェーン店にテナント入居し、総菜や弁当類の販売を行っている。出店数の増加から売上高は前年度比17.6%増の83億9900万円と、高い伸び率を示した。なお、グループ会社でブランドの棲み分けを図っている(株)むすんでひらいて（同町）も、伸び率ランキング6位（前年度比15.0%増）に入っている。

3. 売上高上位50社の合計売上高推移

九州の外食産業の売上高上位50社の2016年度の合計売上高は4834億7100万円と、前年度（4688億8400万円）に比べて3.1%増加した。合計売上高が増加したのは2年ぶり、2014年度（4740億1900万円）を上回り、さかのぼって確認できる2004年度以降の最高を更新した。

業態別にみると、「飲食」が2485億8600万円（構成比51.4%）を占め、前年度比6.6%増と大幅に増加した。増加するのは2年連続。2016年4月に熊本地震が発生し、入居する大型商業施設の閉鎖や店舗設備の損壊などにとまらぬ一部店舗の営業休止を余儀なくされたり、通行規制の影響で高速道路サービスエリア飲食店の売り上げが落ち込んだ企業も見られたが、九州域外での出店を加速した企業のほか、インバウンドを含む観光客の需要を取り込んだ企業などが好調を保った。

■九州の外食産業売上高上位50社の合計売上高推移



■売上高上位50社の事業形態別売上高推移

年度	事業形態	飲食	中食	給食	合計
2014年度	合計売上高	233,071	225,089	15,859	474,019
	社数	34	14	2	50
2015年度	合計売上高	233,268	222,116	13,500	468,884
	社数	36	13	1	50
2016年度	合計売上高	248,586	220,885	14,000	483,471
	社数	36	13	1	50

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

(単位 上段：百万円、下段：社)

他方、「中食」は2208億8500万円（同45.7%）で、同0.6%減とわずかながら減少した。減少するのは2年連続。ただし、この合計売上高の6割超を占める売上高ランキング1位の(株)プレナスの減収が影響している点

には留意が必要だ。同社の売上高を除いた

「中食」の合計売上高は826億300万円と、前年度に比べて5.1%

増加していることがわかる。前年度（5.2%増）から伸び率はわずかに鈍化したが、5年連続で前年度を上回るなど、「中食」産業は市場規模に違わぬ成長を続けている。

■「プレナス」を除く49社の合計売上高の推移

(単位：百万円)

年度	項目	50社 合計売上高 (A)	「中食」 合計売上高 (B)	プレナス 売上高 (C)	49社 合計売上高 (A-C)	プレナス除く 「中食」 合計売上高 (B-C)
2014年度	合計売上高	474,019	225,089	150,383	323,636	74,706
	前年度比伸び率	0.3%	4.0%	1.2%	▲0.1%	10.4%
2015年度	合計売上高	468,884	222,116	143,489	325,395	78,627
	前年度比伸び率	▲1.1%	▲1.3%	▲4.6%	0.5%	5.2%
2016年度	合計売上高	483,471	220,885	138,282	345,189	82,603
	前年度比伸び率	3.1%	▲0.6%	▲3.6%	6.1%	5.1%

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

4. 売上高・損益の推移

売上高上位50社のうち、前年度との比較が困難な4社を除く46社の業績を見ると、増収となった企業が32社（構成比69.6%）と約7割を占めた。構成比は前年度（69.4%）をわずかながら上回り、

2年連続で増加。2012年度（70.8%）以来の高水準となった。

「増収」企業は、「飲食」が23社、「中食」が8社で、業態内における構成比はそれぞれ71.9%、61.5%となった。

一方、損益面では苦戦を強いられる企業が増加傾向にある。「赤字」となった企業は8社（構成比17.4%）と、構成比は前年度（18.4%）から減少したものの、「黒字」ながら「減益」を余儀なくされた企業が14社

（同30.4%）と約3割にのぼった。

もっとも、熊本地震にともなう災害

損失の計上や、

特に年度後半に決算期が到来する

企業では天候不順による野菜

の価格高騰といった一時的要因

も含まれている

が、食材価格の高止まりに加え、人材確保難にともなう社員やパート・アルバイトの賃金上昇、採用経費増などにより採算が悪化する企業も目立ち始めている。

■売上高上位50社の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	13 (17)	3 (0)	9 (9)	3 (4)	0 (2)	1 (0)	3 (2)	32 (34)
減収	3 (6)	2 (0)	5 (5)	0 (2)	3 (1)	1 (0)	0 (1)	14 (15)
合計	16 (23)	5 (0)	14 (14)	3 (6)	3 (3)	2 (0)	3 (3)	46 (49)

※ 2015年度は前年度との比較が困難な1社を除く49社、2016年度は同様に4社を除く46社を分析した

■飲食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	9 (11)	3 (0)	7 (7)	2 (4)	0 (2)	1 (0)	1 (2)	23 (26)
減収	1 (3)	1 (0)	3 (4)	0 (1)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	9 (9)
合計	10 (14)	4 (0)	10 (11)	2 (5)	3 (3)	2 (0)	1 (2)	32 (35)

※ 2015年度は前年度との比較が困難な1社を除く35社、2016年度は同様に4社を除く32社を分析した

■中食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	4 (6)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (8)
減収	2 (3)	1 (0)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
合計	6 (9)	1 (0)	4 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (13)

5. 倒産動向

九州における外食産業の倒産（法的整理のみ、負債1000万円以上）をみると、2016年度は前年度比5.7%（2件）減の33件だった。2013年度（54件）に2000年度以降の最多を記録して以降、3年連続で減少した。

2016年度は25件（構成比75.8%）が負債5000万円未満であるなど、個人経営店を含む小規模倒産が中心で、最大の倒産も（株）エス・アール・ミズカミ（北九州市、2017年1月破産、負債3億5000万円）にとどまった。

■外食産業における企業倒産の推移



もっとも、2017年度は4月から11月までの8カ月間累計ながら、既に31件と前年度を上回るの

ほぼ確実な情勢で、最多だった2013年度に迫る水準にまで増加する懸念が出てきている。倒産そのものが減少傾向にある中、外食をめぐる事業環境の変化に対応できなかった「飲食」事業者の倒産が目立っている。

まとめ

売上高上位50社の合計売上高は前年度比増加に転じ、比較可能な2004年度以降の最高を更新した。熊本地震の影響で、熊本・大分県内の複数店舗が営業休止を余儀なくされた企業も見受けられたが、沖縄県内でファストフード店を展開するエイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)（沖縄県浦添市）のほか、ラーメン店を経営する各社の業績も上伸するなど、インバウンドを含む観光客の増加による恩恵を受けた企業も多い。売上高伸び率ランキングには、首都圏をはじめ全国主要都市に店舗展開したり、多業態を展開する「飲食」事業者が名を連ねた。集客力のある商業施設に入居する「飲食」事業者の売り上げも増加基調にある。

「中食」事業者も需要を着々と取り込んでいる。総菜・弁当を充実させることで高齢者や若年層の取り込みを強化したいスーパーストアやディスカウント店などがテナント導入を推進するなど、引き続き、追い風が吹いている。

一方で、2017年度に入って外食産業の倒産件数が急増している点にも注目したい。若者を中心とした酒類摂取量・頻度の減少も一因だが、集客力のある立地、すなわち都心部または商業施設内テナントに出店できるか否かで成長度合いに差が生じるなど、優勝劣敗の傾向が一層強まっている。また、消費者の嗜好も常に変化しており、多業態展開などで消費者を飽きさせない取り組みの重要度も増している。今後は、禁煙・分煙の実施状況も集客を左右する一つのファクターとなる可能性も出てきている。

外食産業の収益環境は厳しさを増している。為替や商品相場の変動もあって原材料価格が上昇・高止まりしているほか、採用経費を含めた人件費の増加、集客方法の変化による広告費の増加などあらゆるコストが増加。一方で、消費者の節約志向が依然として強く、単価引き上げに踏み切れない企業が大半を占めるのが実情だ。人口減少で顧客獲得競争は必然的に激化することが見込まれるうえ、長時間労働の是正、同一労働同一賃金といった「働き方改革」が進展すればさらなるコスト負担は避けられず、淘汰の波に飲み込まれる外食業者が増加する恐れがある。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：三好暁久

TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング11～50社（2016年度）

順位	前年度 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算 月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
11	10	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	8,399	17.6%
12	11	J R九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキー・フライド・チキン」「ミスター・ナツ」「モスバーガー」「ジャスト・ヘルス・ストア」各FC	3	7,590	6.4%
13	12	注3 (株)庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、定食店「百菜」、天ぷら専門店「那かむら」	3	7,554	**
14	13	(株)資さん	北九州市	飲食	うどん店「資さんうどん」、ちゃんぽん店「ちゃんぽん醬」	8	6,950	0.7%
15	16	(株)むすんでひらいて	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	6,701	15.0%
16	14	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路SA・空港でのフードコート・レストラン経営、「グルメ風月」	12	6,202	▲1.9%
17	15	J R九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅構内レストラン	3	6,139	1.2%
18	27	注4 九州産交リテール(株)	熊本市	飲食	高速道路SAでのレストラン経営、熊本城桜の馬場城彩苑内レストラン	9	6,007	**
19	19	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	飲食	和食・沖縄料理店「わだや」、沖縄地料理店「龍潭」「波照間」	5	5,467	5.5%
20	18	九州惣菜(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「彩花」	9	5,208	▲0.9%
21	17	(株)ジェイアンドジェイ	熊本市	飲食	居酒屋「十徳や」「寿里庵」「さかな市場」「情熱市場」	2	5,057	▲12.3%
22	20	(株)ブレンズ	長崎県佐世保市	中食	持ち帰り弁当店「ほっともっと」FC	3	4,720	▲0.8%
23	21	昭和食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味菜」	12	4,627	▲2.1%
24	22	(株)寿福産業	鹿児島市	飲食	和食店「ぶく福」、黒豚料理店「寿庵」、ラーメン店「十八番」、回転すし店「めっけもん」	3	4,400	0.5%
25	25	(株)ポールスター	福岡市	中食	「ケンタッキー・フライド・チキン」「ザ・ウェイ」FC	6	4,223	1.1%
26	24	(株)めいじん	大分市	飲食	回転すし店「寿司めいじん」、焼鳥専門店「鳥ざんまい」、天ぷら店「天風」	2	4,139	▲2.7%
27	42	(株)やまや食工房	福岡市	飲食	「博多もつ鍋 やまや」「博多めんたい やまや食堂」「博多Kitchen YAMAYA」	8	4,074	49.1%
28	23	(株)坂本	熊本市	飲食	回転すし店「九州すし市場」「ばんばん寿し」、焼肉店「えんや」	7	3,996	▲7.8%
29	31	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクドナルド」FC	3	3,880	18.4%
30	26	昭産商事(株)	北九州市	中食	量販店内総菜・弁当店「味の四季彩」	2	3,797	▲2.3%
31	28	(株)鹿児島なべしま	鹿児島市	飲食	焼肉レストラン「焼肉なべしま」、居酒屋「焼き鳥 とりいち」	5	3,650	0.8%
32	34	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」、「サーティワンアイスクリーム」FC	6	3,500	12.9%
33	32	(株)アマージュ	福岡市	飲食	居酒屋「ふあいそ」「北海道食市場 丸海屋」「博多黒鉄」	11	3,419	4.5%
34	29	(株)プレナス・エムケイ	福岡市	飲食	レストラン「しゃぶしゃぶダイニングMK」	2	3,400	0.4%
35	29	(株)西鉄ブラザ	福岡市	飲食	うどん店「やううどん」、「ド・トルコ・ヒーソップ」FC「ミスター・ナツ」各FC	3	3,294	▲3.3%
36	38	(株)梅の花 p l u s	福岡県久留米市	中食	持ち帰り総菜・弁当店「梅の花」	9	3,274	11.3%
37	33	(株)フェリックス	福岡市	飲食	居酒屋「とめ手羽」、ターツカフ「TITO」	3	3,149	1.0%
38	35	注5 M i コーポレーション(株)	福岡市	飲食	お好み焼レストラン「どんどん亭」、ファーストフード店「どんどんまるや」	5	3,148	3.3%
39	36	(株)ハーバーハウス	福岡市	飲食	海鮮料理店「釣船茶屋さうお」、定食・居酒屋「多幸橋本店」	9	3,116	4.2%
40	37	(株)グラノ24K	福岡県遠賀郡	飲食	レストラン「野の葡萄」「花葡萄」「ぶどうの樹」	3	3,002	1.1%
41	39	(株)うちだ屋	福岡市	飲食	食堂「うちだ屋」「麵勝」、セルフうどん店「めん勝」	9	2,907	1.5%
42	41	(株)八仙閣	福岡市	飲食	中華レストラン「八仙閣」、日本料理「銀香梅」	3	2,800	1.0%
43	-	注6 (株)ピースマイルプロジェクト	鹿児島市	飲食	「炭火焼肉のて」「薩摩牛の蔵」「産直焼肉ピーファーズ」	3	2,788	**
44	43	(株)イワタダイナース	福岡市	中食	宅配ピザ・お好み焼き店「ピザック」	2	2,725	3.0%
45	46	注7 (株)イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「ポポーマーマ」「サーティワンアイスクリーム」各FC	2	2,616	12.0%

(次ページへ続く)

順位	前年度 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算 月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
46	48	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	居酒屋「松介」「博多ほたる」、焼肉店「龍王館」、ラーメン店「中る」	9	2,560	12.4%
47	44	(株)ハルフードシステム	長崎県佐世保市	飲食	イタリアンレストラン「マルゲリータ」、和食レストラン「白菜旬」	3	2,550	1.0%
48	45	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「豊竹」「プライベートダイニング天天」「博多ピストロタケノヤ」	3	2,452	▲0.4%
49	49	(株)雄和	熊本市	飲食	焼肉レストラン「彩炉」、和風ダイニング「土房」	7	2,414	6.4%
50	-	(株)アベックスコーポレーション	福岡県久留米市	飲食	ラーメン店「龍の家」、「ラーメン息吹」、コメダ珈琲店FC店	10	2,352	72.9%

【売上高には推定値を含む】

- 注3 (株)庄屋フードシステムは、2016年4月に(株)フードプラス・ホールディングス(旧・(株)庄屋フードシステム)から店舗運営事業の分割譲渡を受けて事業を開始した。【参考】旧・(株)庄屋フードシステムの2015年度(2016年3月期)売上高は70億500万円。
- 注4 九州産交リテール(株)は、2015年3月に九州産交ランドマーク(株)の飲食・物販事業を継承する目的で設立された。前年度決算は12カ月分の売り上げが計上されていないため、売上高伸び率の算出は省略した。
- 注5 (株)Miコーポレーションは、2016年8月に(株)マツインから商号変更し、本店を福岡市内へ移転した。
- 注6 (株)ピースマイルプロジェクトは、2016年7月にグループ会社(株)アンドワークスを吸収合併し、事業を開始。業績は実質9カ月間。
- 注7 (株)イートスタイルは、2017年3月に(株)アドバンスから商号変更。